

# 世田谷たすけあいネットニュース



発行責任者: 世田谷たすけあいネット 代表 大矢 和親



世田谷たすけあいネットは人の応援が欲しいとき「手をかして」と気軽に言える、「あったかな地域」づくりをめざしています。平成16年5月開始以来、高齢者の暮らしの困り事や悩みごとを解決すべく「無料で電話相談」にお応えして、情報の提供やボランティアの出張サポートを行っています。

←研修風景

## 第8回

### 見守りボランティア研修開催

9月28日、今年も世田谷区の全面的なご協力のもと、見守りボランティア研修会を上馬まちづくりセンターで開催しました。

世田谷区報9月1日号で、研修会の参加者募集をしましたが、今年は例年より少なく2名の応募にとどまったので、新人研修と既登録者のフォローアップ研修をかねた研修会としました。

講師は昨年と同じ元目黒チャイルドライン理事の大井裕子先生にお願いし、『見守りボランティア活動のための安否確認とコミュニケーション』をテーマに進められました。

前半は2グループに分かれ、ロールプレイで、実際に世田谷区の「住まいあんしん訪問サービス」事業の現場で起こる様々な問題についてどう対応するか体験学習、後半は見守りボランティアに大切なことは何かについて、メンバー全員が意見を出し合い、それをグループで優先順位付けし、まとめ上げるというものです。参加者が率直な意見をぶつけ合う中で、いろいろな気づきや学びがありました。

今回は区の担当職員の皆さんにもグループワークに参加していただくことで、住まいあんしん訪問の現場の課題等を具体的に共有できたことも大きな収穫でした。



## 世田谷 あんしん訪問記

### 代沢あんしんすこやかセンター

今号は代沢あんしんすこやかセンターより寄稿いただきました。

### 「たすけあいネット」の活動を通じて思うこと

代沢あんしんすこやかセンター 北澤 良博

2000年の介護保険導入により福祉は「措置から契約」へと大きく舵を切りました。(あれからあつという間に16年が経ってしまいました)

そして2016年、世田谷区では「介護予防・日常生活支援総合事業(総合事業)」という「介護保険導入」以来の大きな変化を迎えました。

今後、「地域包括ケアシステム」の考えの下、「住民同士の助け合い」が重要になってくるとのこと。よく言われる「自助・互助・共助・公助」の「互助」の考えです。

光岡代表がおっしゃられる「元気な高齢者がちょっと弱った高齢者を支える地域づくり」これが正に「互助」の根幹を成すものではないでしょうか。昔の日本では「向こう三軒両隣」の精神がありました。(今でも「ある」と信じておりますが...)しかしその精神論だけでは、ままならぬ状況でもあります。

「たすけあいネット」では、まさに「向こう三軒両隣」を現代的な組織ネットワークとして、時代に即した形で展開していこうと活動されています。それは、これからの「福祉の大きなスタンダード」となることでしょう。

今後も「世田谷たすけあいネット」と「あんしんすこやかセンター」が連携を図りながら地域住民の方々のご支援を担えればと考えております。

電話相談日: 毎週火曜日 10:00~17:00

Tel 6379-1300 Fax 6379-1889

ボランティアミーティング 11月8日第2火 13:00~

●相談日以外は留守電へ、こちらから電話します